

寒冷地形談話会通信

1999 年度第 2 号 1999.7.10 発行

事務局：〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1
東京都立大学理学研究科地理学教室内寒冷地形談話会事務局

TEL：0426-77-1111 (Ext. 3836)

FAX：0426-77-2589

E-mail：aoyama@geog.metro-u.ac.jp

・寒冷地形談話会夏の学校・山岳永久凍土研究グループ巡検・ 調査のお知らせ

今年の夏の学校は、案内者に岩田修二先生をお迎えして、白馬岳周辺の氷河地形・周氷河地形の観察および調査を行います。

期日：1999 年 9 月 7 日（火）～9 月 11 日（土） 4 泊 5 日

日程：9 月 7 日（火）7 時猿倉集合後、登山。

9 月 7 日午後と 9 月 8 日（水）は、白馬岳稜線付近の地形を広く観察。

9 月 9 日（木）以降は自由参加とし、杓子岳岩石氷河で電気探査、測量、ロガー設置などの調査をおこなう。

下山は猿倉を予定。

宿泊：村営頂上宿舎もしくは同宿舎裏キャンプ場（テント泊の方は、テント、食料、生活用品などは各自持参でお願いします）。

持ち物：地形図 1/2.5 万「白馬岳」、「白馬町」、ほか登山必需品。

アプローチ：白馬駅－猿倉、松電バス（27 分）。また、猿倉には無料駐車場があります。

参加ご希望の方・質問のある方は 8 月末日までに寒冷地形談話会事務局の方へご連絡下さい。不在がちになるため、連絡は E メールがベストです。（担当：福井 0426-77-1111（内線 3836）、E-mail：pukuun@geog.metro-u.ac.jp）

・ 6 月例会報告

6 月 26 日（土）、明治大学駿河台校舎において、今年度第 1 回目の例会を開催しました。当日は 30 名近い参加者がありました。松岡憲知先生の発表要旨は次号に掲載します。

岩田修二（東京都立大・理・地理）

氷河地形研究における最近の重要課題

1) 日本列島の氷河編年と D-O cycle・Heinrich Event

日本列島の更新世末の氷河前進期を、テフラの年代幅を考慮し、時間軸上に並べた。時代が確定している氷河前進期は少ない。いまのところ、18 ka-25 ka, 42 ka, 60-75 ka のみつつの前進期が認められる。今後年代値が増加すると、前進期がある時期に収束するのではなく、いろいろな時代に拡散する可能性がある。これは、ダンスガー・オーシュガー=サイクルやハインリッヒ=イベントと対応した氷河前進を示すのかもしれない。日本海のお底堆積物からもそのようなサイクルが見いだされている。日本列島の氷河前進期をある時期に収束させるような対比をするより正確な時代の解明に全力を注

ぐべきであろう。

2) 氷床サージのメカニズムと流動メカニズムのパラダイム変化

以前から問題になっていたアイスストリーム急速な流動が、氷河底の堆積物の変形で説明され始めた。これは、氷床崩壊のメカニズムの説明にも有効であるが、氷河底の堆積物の解釈にも大きな影響を及ぼす。トッタベツ川や蒲田川左俣から引きずり構造を持つ氷成堆積物が発見されており、日本の氷河の流動を考えるとときにも留意すべき問題である。

3) 東シベリア氷床は存在したか

最近、しばしば、氷河期の東シベリアの北極海側に大きなマリンアイスドームが形成されていたことを示す図が現れている(たとえば Grosswald and Hughes, 1995: Jour. Glaciol., 41)。もし、これが本当なら、完新世初頭の融解期には日本海やオホーツク海にも多量の融解水の流入など大きな影響を与えたかもしれない。早急に検証すべきである。

4) 氷河湖決壊洪水 (GLOF: glacial lake outburst flood) : 地球温暖化による影響か?

ヒマラヤ山脈では、氷河湖決壊洪水の発生が危惧されている。地球温暖化と関係した氷河の急激な後退によってモレーン堰き止めダム湖が形成されるためである。ネパールでは、山田知巳が、ブータンでは上田 豊・岩田修二などが調査をおこなった。上田ほかは、ブータン北西部から北部にかけてのヒマラヤ主脈南側を40日にわたって歩き、30の氷河湖の危険度を評価した。ブータンでは氷河涵養域が急峻で、雪崩涵養型の氷河が多く、完新世末～小氷期のモレーンの発達も良く、湖の形成されている高度も低いのでGLOFの発生の可能性は大きいといえよう。継続的な監視が必要である。

・会費納入のお知らせ

前号でもお知らせしましたが、今年度の会費の納入をお願いします。会費は前年度と同じく1,500円です。納入は郵便局の振込みでお願いします。振込用紙に以下の口座番号を記入してご納入ください。

寒冷地形談話会 00100-9-171342

1,500円/年です。

3年間会費未納の方は、通信の発送を停止させていただきますので、ご了承下さい。

・事務局からのお願い

昨年度発行した名簿に記載されている所属や住所などに変更がある方は、お手数ですが事務局までEメールまたは葉書でお知らせ下さい。また、今まで郵送により寒冷地形談話会通信をお受け取りになっていた方で、通信の受け取りをEメールのみでおこなう「メール会員」への移行を希望される方も、事務局までお知らせ下さい。

寒冷地形談話会例会での発表を希望される方がいらっしゃいましたら、事務局のほうで例会を設定しますので、事務局へお知らせ下さい。但し7月～9月は事務局が不在がちになるため、例会開催はそれ以外の期間にお願いします。